



石川労福協

第 514 号 2010年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田 弘志
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

石川県、県内各市町に 「平成23年度の施策に対する要請」を行う

石川県労働者福祉協議会と会員の労働者福祉事業団体は、毎年、県内各自治体に対し、政策課題と活動助成金の要請を次年度予算編成の中で措置されるように取り組んでいる。

今年も、会員の労働者福祉事業団体とで構成する事業団体連絡会議や労福協理事会における要請内容の立案、調整、確認を経て、連合石川地方議員団や石川県をはじめ県内各自治体担当者との懇談会を通じて要請内容説明と理解を求めた。

要請行動は、10月18日(月)から、内灘町



山出保金沢市長



石川県議会議員団懇談会



能登ブロック自治体懇談会

八十出泰成町長への要請を皮切りに県内18の自治体首長に対し、当協議会の上田弘志理事長、宮下亮専務理事、山口隆北陸労働金庫石川県副本部長等に加え、関係自治体の協力議会議員と地元地域ライフ・サポートセンター代表者



加賀ブロック自治体担当者会議



谷本正憲石川県知事

が同行。

さらに、11月2日(火)の谷本正憲石川県知事、9日(火)の山出保金沢市長に対する要請には労福協・各福祉事業団体代表者が参加した。

その中で、上田理事長が、「①生活面でのワンストップサービス体制の整備、②生活福祉資金の申請処理の迅速化、③子育て支援などの政策課題(次頁の要請書(要旨)参照)の実現を求めるとともに、これからも労福協・各地域ライフ・サポートセンターは連携し地域社会に貢献していきたい。」と述べ、今回の要請行動を終了した。



和田慎司小松市長



寺前秀一加賀市長

平成 23 年度 石川県及び市町の施策に対する要請書(要旨)

Ⅰ. 石川県に対する要請事項

< 政策関係要請事項 >

- 生活面での総合的な相談のワンストップサービス体制について
職を失った人達に対する総合的な相談をワンストップで行う体制を整備するとともに、相談員の人材育成等ソフト面の充実も含めて県が率先し、各市町への指導を行うよう要請します。
- 生活福祉資金の申請処理スピードアップについて
生活困窮者向けの「生活福祉資金」貸し付けは、申請件数が昨年比約 6 倍に急増する状況にあります。生活困窮者には 1 日も早い迅速な対応に向けたさらなる施策を講じられるよう要請します。
- 中小企業労働者の福利厚生の向上について
「金沢勤労者福祉サービスセンター」は、金沢市が主体となり内灘町が加入していますが、会員・事業所は 6 市 6 町にまたがっている現状から、スケールメリットが發揮できる広域化に向けて、県として関係する自治体に対し指導を要請します。
- 子育て支援について
「病児等緊急預り対応基盤整備事業」(緊急サポート事業)は平成 22 年度で終了します。平成 23 年度以降、緊急サポートの会員が各市町のファミリーサポートセンター等へ円滑に移行できるよう、引き続き市町へのバックアップを要請します。
- 食の安全について
県の「食の安全・安心確保に関する基本方針」策定から、食品行政への県民の声を反映するよう取り組まれているが、基本方針が現情にそぐわない点も出てきています。このことをふまえて条例制定を進める等、さらなる食品安全行政の充実強化を要請します。
- 消費者行政の充実強化について
「地方消費者行政活性化基金」の活用による各自治体での「消費者行政活性化計画」の完全達成に対する指導するとともに、この制度終了後も引き続き、消費者行政を充実強化するよう要請します。
- 連合石川「2011 年度対県要請」について
連合石川が提出した「2011 年度対県要請」に対して、県として誠意をもって回答されるよう要請します。

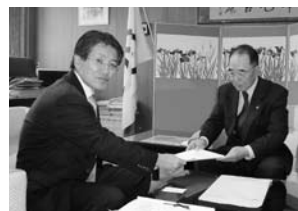
Ⅱ. 市および町に対する要請事項

< 政策関係要請事項 >

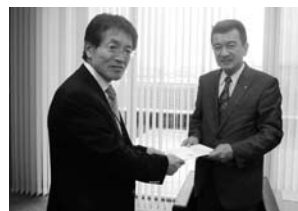
- 生活面での総合的な相談のワンストップサービス体制について
職を失った人達に対する総合的な相談をワンストップで行う体制を整備するとともに、相談員の人材育成等ソフト面の充実も含めて県が率先し、各市町への指導を行うよう要請します。
- 中小企業労働者の福利厚生について
「金沢勤労者福祉サービスセンター」は、金沢市が主体となり内灘町が加入していますが、会員・事業所は 6 市 6 町にまたがっている現状から、金沢勤労者福祉サービスセンターへの加入を要請します。
- 地域ライフ・サポートセンターに対する支援要請について
当協議会の支部組織である「地域ライフ・サポートセンター」は現役労働者と退職者が一体となって、県内 9 地域でスポ・レク事業、ボランティア等の活動を展開し、福祉の向上を目指しています。
少子高齢化社会の中で、子育て支援・緊急サポートネットワーク地域センターの役割や高齢者福祉の一翼を担っている各センターに対する支援と協力を要請します。
- 子育て支援の充実について
「病児等緊急預り対応基盤整備事業」(緊急サポート事業)は平成 22 年度で終了します。緊急サポートの会員の受け皿として、ファミリーサポートセンター設置の市町(加賀市を除く)におかれましては、病後児預りに向けた対策を要請します。
ファミリーサポートセンター未設置の市町におかれましては、平成 23 年度よりファミリーサポートセンター等の設置を要請します。
- スポーツ、文化事業に対する支援要請について
当協議会の石川県勤労者体育協会、石川県勤労者文化協会が主催するスポーツ競技、美術展等の事業に対する各市町の共催、協賛、後援のほか、各市町が運営する体育館等公共施設の利用に際し使用料の減免措置等の配慮を要請します。
- 消費者行政の充実強化について
「地方消費者行政活性化基金」の活用による各自治体で消費生活センターの新設、専門相談員の配置など消費者行政の強化が図られつつあります。相談体制の強化と住民周知による施設の活用の推進とともに消費者教育や消費者団体支援などの消費者行政の充実強化を要請します。
- 高齢者、独居老人宅に対する生活支援について
一層進む高齢化社会に対応するため高齢者、独居老人宅の生活を取り巻く諸課題の対策を協議し、住民福祉サービスの向上を図ることを要請します。

Ⅲ. 運営助成金等要請

労福協として助成金及び出資金、地域 LSC の運営補助金を要請した。また、北陸労金は、勤労者貸付金制度、勤労者小口資金融資制度、育児休業・介護休業資金融資制度に対する利子補給補助金を、生協連は、運営補助金、運営資金・長期設備資金融資制度の措置を、勤体協、勤文協は、ともに補助金の措置をそれぞれ要請した。



酒井悌次郎能美市長



栗貴章野々市町長



八十出泰成内灘町長



山辺芳宣羽咋市長



石川宣雄穴水町長

これからの行事予定

開催日	曜日	行 事	(11 月 20 日現在) 会 場
12 月 2 日	木	LSC 事務担当者研修会	ANA ホテル
3 日	金	労福協三役会議	フレンドパーク石川
		個人情報保護法に関する説明会	石川県庁
4 日	土	移動相談会	七尾市
7 日	火	中部会館協議会幹事会	京都市
		第 60 回勤労者美術展 特別展 (～ 17 日)	石川県庁 展望ロビー
9 日	火	防火講習会	フレンドパーク石川
10 日	金	食みどり水ネット「第 42 回全国集会」(～ 11 日)	東京都「日本教育会館」
12 日	土	勤労者互助会「映画鑑賞」	ユナイテッドシネマ
14 日	火	全労済書記研修会 (～ 15 日)	七尾市
15 日	水	第 5 回食とみどり・水を守るネットワーク総会	労済会館
20 日	月	石川労福協第 5 回理事会	フレンドパーク石川
28 日	火	会館互助会総会	フレンドパーク石川
1 月 5 日	水	労福協・連合石川「2011 新春の集い」	都ホテル

※フレンドパーク石川は「12 月 29 日(水)～1 月 3 日(月)」休館日いたします。

各種集会・講演会・研修会等には
フレンドパーク石川をご利用下さい。
(076)234-2421

相談アドバイザーが情報交換を行う

11月18日(木)フレンドパーク石川において第5回福祉なんでも相談アドバイザー会議が、連携協力する各種団体からの相談員16名が参加して開催された。

会議では、①不安定な経済・雇用情勢で格差が拡大する社会は一向に改善されず生活苦など多くの悩みを抱えている。②相談窓口は行政をはじめ各種機関で新設されており、窓口ごとでは前年比減少となっているが全体では増加している。③貸金業法の改正でヤミ金融が増加すると言われていたが、今のところ動きは見られない。④消費者保護の法整備が進み悪質訪問販売などは減少しているが、だましの巧妙さが増しており注意が必要。⑤心の相談が増加している。などの情報交換がされ、相互の連携を確認した。



福祉なんでも相談アドバイザー会議

日本海・子育て支援メッセ

11月6日(土)「日本海・子育て支援メッセ」が、(財)いしかわ子育て支援財団などの主催により金沢市の県産業展示館で開催された。

今回の開催は、「地域も企業もみんなで子育て」をテーマに県内の子育て支援団体や企業など約120団体がブースを出展し、活動やサービス内容を紹介した。



慎重にスーパーボールをすくう子ども

当日は約7千人の親子連れの来場があり、労福協ではブースにパネルやポスター、チラシを展示すると

「地域に根ざした運動の推進へ」 連合石川定期大会が開催される



挨拶する上田弘志連合石川会長

連合石川第22回定期大会が、10月28日(木)労済会館で開催された。

大会は、執行委員や代議員の他、石川県副知事、金沢市長、石川労働局長、連合本部組織対策局長、各政党代表者、宮下亮石川労福協専務理事らが出席。冒頭、上田弘志連合石川会長が「活動に対する御礼と地域に根ざした顔の見える運動を推進し、2011年度もすべての働く者の連帯で希望と安心の社会を築く運動を展開したく皆様のご協力をお願いします。」と挨拶のあと議案審議が行われた。審議では、提案した全議案が承認され、続いて大会スローガンと大会アピールが採択され終了した。

ともに、子ども達とスーパーボールすくいをして、PRをおこなった。利用会員やサポート会員親子も顔を見せ、育児用品リサイクルや会場のステージなどで終日賑わった。

緊急サポートアドバイザー 直江圭祐

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2010年10月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	13	117
わじま	2	12	0
ななお	8	4	0
はくい	5	6	5
かほく	19	70	10
かなざわ	164	529	775
はくさん	38	88	28
こまつ・のみ	21	42	16
計	263	764	951

華やかに『第60回勤美展』が開催される



石川県勤労者文化協会は、11月17日(水)から21日(日)の会期で第60回石川県勤労者美術展を金沢勤労者プラザにおいて、出品数 306 点

のほか、生け花で会場に華を添えて開催した。

今回は、60 回目の開催であることから、日本画、洋画、書道、



写真、手工芸の各部門の顧問が出品した特別展を併設するほか、各部門の招待出品者の中から「第60回記念特別賞」が授与された。作品は、どれもこれも力と技のこもった大作ばかりで、とても素人肌とは思えない作品で目を見張るものもあった。



なお、受賞作品のうち厚生労働大臣賞、石川県知事賞、石川県議会議長賞の作品は、県庁19階ロビーで12月7日(火)から12月17日(金)まで展示される。

特 別 展



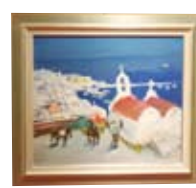
「丑」指頭文壺
大樋 長左衛門 顧問



「雲破れて月(池に)来たる」
氷田 清風 顧問



「花」
下村 正一 顧問



「ミコノスに祈る」
端名 清 顧問

日本画



第60回記念特別賞
「静」
武樋 登

洋画



第60回記念特別賞
「工場の一隅」
岡田 博

書道



第60回記念特別賞
「奥野細道序の一節」
松山 節子

写真



第60回記念特別賞
「息づく古民家」
横越 侃二

手工芸



第60回記念特別賞
「さかな」
谷口 治夫



厚生労働大臣賞
「焼けたよ～」
小瀬 正治



石川県知事賞
「フラミンゴ」
吉田 昌代



勤文協会長賞
「みのり」
谷鋪ちづ子



金沢市長賞
「春の詩」
小田 正子



厚生労働大臣賞
「ばら」
多田 公子



石川県知事賞
「誕生」
中川 忠雄



勤文協会長賞
「緑韻」
上野 明



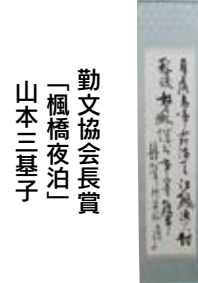
金沢市長賞
「溪流」
島 真理子



厚生労働大臣賞
「つと立ちよれば」
太田 正代



石川県知事賞
「因果律」
中島 幸雄



勤文協会長賞
「楓橋夜泊」
山本三基子



金沢市長賞
「風舟載月浮秋水」
下島富美子



厚生労働大臣賞
「真夏日」
塚本 松男



石川県知事賞
「バラに魅せられて」
城村政子



勤文協会長賞
「待機中」
千田 洋子



金沢市長賞
「残照」
鍛冶 敏弘



厚生労働大臣賞
「リング」
宮本都也子



石川県知事賞
「爛漫」
安江富美子



勤文協会長賞
「Action」
市保 藍



金沢市長賞
「夢みる地」
河合 民子



「黎明（砺波平野）」
中川 宏治 顧問



「水面」
内島 一郎 顧問



「金澤織部水指」
飯田 雪峰 顧問



「アルプスの湖畔」
杉村 雄二郎 顧問

石川共済生協（全労済石川）創立 50 周年を祝う



本田和雄石川共済生協理事長

石川県勤労者共済生活協同組合（石川共済生協）は、10月22日（金）午前10時30分より都ホテルにおいて創立50周年記念式典を開催した。

式典は、本田和雄理事長が「今から50年前の1960年8月10日に石川県内の労働組合や労働金庫が中心になって石川共済を設立し、火災共済などの事業を立ち上げ着実に発展してきた。しかし、『少子高齢化の進展』『人口減少社会への突入』『消費者保護や健全性基準等の厳格化に向けた保険法などの改正整備』により事業環境は大きく変化している。

50周年を契機に全労済石川県本部は、『ありがとう50年、これからは全労済』を合言葉に記念事業活動を進めます。また、全労済の理念である『みんなで助け合い、豊かで、安心できる社会づくり』に向けて、新たな全労済運動への挑戦を始めたい。」と挨拶した。

続いて、来賓の谷本正憲石川県知事らからそれぞれ祝辞があった後、37団体と4人の推進員がパートナーシップ表彰され賞状と記念品の授与を受けた。

さらに、社会福祉法人陽風園ほか2団体の福祉施設にテントの目録が寄贈されて閉会した。なお、式典の後には総勢168人が出席してレセプションが催された。

県LSC 事務局次長 一明政行



谷本正憲石川県知事



山田俊克金沢市産業局長

上田弘志連合石川会長
石川労福協理事長

中部労福協研究集会



中部労福協研修集会

2010年11月4日（木）から5日（金）の日程で、大阪市の「シティプラザ大阪」において中部労福協研究集会が中部12府県の労福協代表者が参加して開催された。

4日（木）は、中村圭介東京大学社会科学研究所教授が「地域のきずなと労働組合の役割」と題した講演で、連合地域協議会が念入りに各単組回りすることや未組織労働者対策として、非正規労働者の加入（組織化）などで、外側に顔の見える連合活動が始まっている。また、労福協のライフサポートセンター活動については、全ての都道府県で早期に設置されることが望ましいと締めた。

続いて、林家とんでん平札幌市議会議員による手話落語が披露され、参加者を巻き込んで「どんぐりコロコロ」の歌を手話によって合唱した。

5日（金）は、坂本眞一連合大阪非正規センター相談員が「大阪希望館の取組みと現状について」と題し、大阪希望館の構成や仕事とともに住まいを失った人、`住まいを失う恐れのある人、への支援活動として取り組む「住まいの提供」と「就業訓練」について発表した。また、このほか電話相談も行っているが、労働相談より家庭問題等の一般相談が増えているなどの現状報告があり、研究集会を終了した。

県LSC 事務局次長 一明政行

中央労福協 第4回加盟団体代表者会議

11月19日(金)中央労福協の第4回加盟団体代表者会議が東京の全日通霞ヶ関ビルで開催された。中央労福協では総会の開催を隔年開催としており、中間年は総会につぐ会議として開催しているもので、加盟団体111団体の代議員82名とオブザーバー10名、中央労福協役員14名の計106名が出席した。

冒頭、笹森清会長が「今年は結成60周年を経て、政権交代という新しい時代の幕開けとなった年であるが、社会は「雇用破壊」と「生活破壊」で私たちの暮らしが崩れてしまった年でもある。グローバルな面でも新しい秩序をつくらねばならない環境にあり、我々に科せられる課題は大きなものがある」と挨拶した。

続いて、報告・議案提案に移り、「2010年度活動報告、2010～2011年度活動方針の中間総括と補強(案)」、「2010年度会計決算報告、2010年度収支差額処分(案)」、「2011年度会計予算(案)」が高橋均事務局長および小竹信行事務局次長から報告・提案され、全ての議案とも満場一致で可決・承認された。

さらに、役員補選として神津里季生氏、橋本俊幸氏の両会計監査が所属組織の都合で退任し、後任として工藤智司氏と荒木英篤氏が選任された。

第2部では、「協同組合は『新しい公共』の担い手になりうるか」をテーマに、高木郁郎山口福祉文化大学教授、山本幸司連合副事務局長、高橋事務局長からそれぞれの組織と取り組みや主張点について意見交換した。

石川労福協からは、宮下亮専務理事が代議員として出席した。



中部労福協第3回幹事会を開催

11月11日(木)フレンドパーク石川において、幹事ら16名が出席して中部労福協第3回幹事会が開催された。



中部労福協第3回幹事会

今回の幹事会は、石川労福協担当での開催となり、開催地を代表して上田弘志石川労福協理事長が「幹事会の歓迎と石川労福協の近況」について挨拶した。

その後、中央労福協から11月19日(金)に開催する加盟団体代表者会議にかかる概略説明等が報告されたほか、各府県労福協から現状報告や意見交換がなされた。続いて、協議事項に移り、出身組織の事情による幹事の交替を承認した後、次の開催日程を決定して閉会した。

第41回石川県消費者大会



講演するスティーブン・リーパーさん 石川県消費者団体連絡会は、11月15日(月)金沢市アートホールにおいて約100名が参加して第41回石川県消費者大会を開催した。

大会は「明るく活気ある暮らしのために」をメインテーマとして、毎年その時々社会問題を取り上げており、今年は(財)広島平和文化センター理事長のスティーブン・リーパー氏から「今年のNPT(核拡散防止条約)再検討会議を振り返っての成果と課題、今後の取り組みや世界の核兵器をめぐる情報」と題して講演があった。その後、パネルディスカッションで「日本はリーダーシップをとり核兵器禁止条約を作るべきである。」とリーパー氏が提言し閉会した。

リンゴ狩り旅行

10月30日(土)に84名の参加で、全労済石川50周年記念事業として「信州りんご狩りバス旅行」を開催した。



リンゴを狩る参加者

当日は、台風が接近して天候が心配されたが、曇り空の下、りんご狩りを楽しんだ。

もぎたてのりんごは美味しく、箱買いする参加者もいた。コースの後半は、栗の町小布施に立ち寄り散策した。

参加者からは、「また来年もこういう企画があれば、案内してね」と言われた。

輪島・穴水地域 LSC 境薫

大繁盛の「ござっさい祭り」



繁盛するござっさい祭

10月31日(日)、道の駅・源平の郷で「ござっさい祭り」が行われ、河北ライフ・サポートセンターも今年は“コープいしかわ”の産直りんご・バナナ・卵・ラーメンや地元津幡の間伐材で作った割り箸など、安心・安全・環境に優しい商品を販売した。

町おこしグループの生産物や手作り品、地元農産物の販売テナントが並ぶ中、当ショップのテント前には開店前から人だかりができ、時には行列ができる程の賑わいとなった。店頭立つ会員の明るい笑顔と呼び声に2時間余りで全ての商品が売り切れとなった。

当ショップにご来場いただいたお客様「ようござっさい。ほして、たくさんこうて(買って)もろて本当にあんやと。」

河北地域 LSC 吉田雅子

お伊勢参りバス旅行

毎年秋に実施している金沢ライフサポートセンター旅行部会主催の「伊勢神宮内宮参拝」バス旅行が11月9日(火)に実施され、73名が参加した。

朝7時に金沢駅を出発、正午には伊勢神宮に到着した。昼食の後は自由行動とし、晴天の中



参詣し伊勢を後にする参加者

それぞれが内宮参拝やおはらい町通り、おかげ横丁などを見て回り、楽しい時間を過ごした。特に、伊勢神宮は五十鈴川にかかる宇治橋を渡る瞬間から身の引き締まる思いを感じ、新たな気持ちで参拝することができた。

その後、夫婦岩で有名な二見岩を見学し帰路についた。往復13時間のバス旅行だったが、車中ではビンゴゲームの催しもあり、またベランガイドさんの名調子も快く、すべての日程を問題もなく無事終了することができた。

金沢地域 LSC 宮本一二

勤 体 協

第10回勤労者クライミング大会
(10月31日・医王山スポーツセンター)
タ1
◇一般(45歳未満)▽男子
川利章②船橋裕己③牧谷勇子▽女
子①北川律子②中島亜希③川本
真代◇シルバー(45歳以上)▽男子
①中島昭二②牧野功③田村晃▽
女子①東出直美②岩田美穂子③
中前紀代美◇オープン▽男子 Jr
①沖雄祐②森田卓也

ドラック A ②ビッグウェーブ ③伸
晃化学 A
◇個人▽1部 ①津田吉哲 ②有
田登美子 ③川上秀則、HG川上 25
7▽2部 ①宮沢健三 ②藤島大樹
③八田守幸、HG藤島 233▽3部
①中村邦子 ②東幸雄 ③柳田外喜
雄、HG中村 237
【第2シフト】◇団体▽1部 ①
レディースⅢ②クレイジ1 A ③グ
ランドスターズ▽2部 ①YSN
②うさぎC ③葵クラブ
◇個人▽1部 ①有田登美子 ②
山脇市郎 ③北村忠、HG有田 279
▽2部 ①清水一也 ②宮沢健三 ③
横山鉄洋、HG山沢豊和 254▽3
部 ①柳田外喜雄 ②中村邦子 ③金
森さみ子、HG柳田 216